

全専各連

ホームページから広報（PDF版）がダウンロードできます

No.185 2020年3月16日

発行：全国専修学校各種学校総連合会

発行人：福田 益和

編集人：菊田 薫

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館11階

Tel:03(3230)4814 Fax:03(3230)2688



全専各連第130回理事会・全専協理事会開催

令和2年度事業計画原案・収支予算原案を承認

2月27日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、全専各連第130回理事会・全国専門学校協会理事会合同会議が開催された。出席者は全専各連理事会60名、全専協理事会60名（ともに委任状含む）。

岡本比呂志全専各連副会長・全専協常任理事の開会の言葉に続き、福田益和全専各連・全専協会長があいさつを述べるとともに、令和4年の参議院議員選挙に立候補予定の山谷えり子参議院議員に対して、全専各連として団体推薦することを提案、出席者全員異議無く拍手承認した。

続いて来賓として山谷えり子参議院議員が紹介され、あいさつを述べた。

山谷議員退席後、金城太一文部科学省専修学校教育振興室長が来賓あいさつを兼ね配布資料に基づき、令和2年度専修学校関係予算案、職業実践専門課程・キャリア形成促進プログラム認定状況について、高等教育の修学支援新制度、私立学校法の一部改正について説明を行った。続いて、来賓として赤池誠章参議院議員が紹介され、あいさつを述べた。赤池議員、金城室長退席後小憩を経て議事を再開、両理事会の議長選出（会則により福田会長）、定足数の確認が行われた後、全専各連・全専協の役員兼務者である、長谷川雅敏全専各連常任理事・全専協理事、坪内浩一全専各



挨拶を述べる福田益和全専各連・全専協会長

連・全専協常任理事が議事録署名人に選出され、議事へと入った。

◎全専各連第130回理事会

【第1号議案 令和2年度事業計画原案（審議事項）】

関口正雄常任理事・総務委員長が「1. 運動方針（基本方針、重点目標）：①職業教育体系の確立と専修学校および各種学校の振興方策の実現、②専修学校および各種学校制度の充実・改善、③学校運営の強化・健全化と教育の質保証・向上に向けた取組の推進、④全専各連・都道府県協会等の組織強化・活性化について説明した。その他の事業計画、各委員会の活動方針については、事務局から説明を行った。

【第2号議案 令和2年度収支予算原案（審議事項）】

八文字典昭副会長・財務委員長が6月の定例総会において承認を得るまでの暫定予算として執行される予算原案について、予算立案方針、各科目の明細について説明。

第1号議案、第2号議案は一括で審議され、特に質疑は無く出席者全員異議無く拍手承認した。



山谷えり子参議院議員



赤池誠章参議院議員

【第3号議案 会則施行細則の一部改正（審議事項）】

全専各連会則施行細則の一部改正について事務局から説明。本議案について特に質疑は無く、出席者全員異議無く拍手承認した。

◎全国専門学校協会理事会

【第1号議案 令和2年度事業計画原案（審議事項）】

運動方針と重点目標、委員会活動方針、その他事業計画等について事務局から説明。

【第2号議案 令和2年度収支予算原案（審議事項）】

八文字常任理事・財務委員長が6月の定例総会において承認を得るまでの暫定予算として執行される予算原案について、予算立案方針、各科目の明細について説明。

第1号議案、第2号議案は一括で審議され、特に質疑は無く出席者全員異議無く拍手承認した。

<会則施行細則の一部改正>

全専協常任理事会において承認された会則施行細則の一部改正について事務局から説明が行われた。

<令和元年度事業中間報告>

6月の全専各連並びに全専協総会には審議事項「令和元年度事業報告」として各々提案されることが確認された。

<改選手続きについて>

令和2年度は全専各連、全専協ともに役員改選年であることから、改選手続きについてスケジュールをもとに事務局が説明を行った。

以上により、全ての議事を終了。平田眞一全専各連理事・全専協副会長が閉会の言葉を述べ、理事会の全日程を終了した。

※全専各連第130回理事会・全専協理事会当日資料については、全専各連ホームページをご覧ください。

令和2年度 専修学校関係予算案閣議決定

12月20日、政府は令和2年度予算案を閣議決定した。このうち文部科学省の専修学校関係予算案は、専修学校教育の振興に資する取組で21.8億円、専修学校の教育体制及び施設整備等に関する取組で5.3億円、専修学校への修

学支援に資する取組で266億円となった。

なお詳細は全専各連ホームページ内の「広報全専各連プレスWEB」に掲載します。

専修学校教育の振興に資する取組 21.8 億円

●人材養成機能の向上

○専修学校における先端技術利活用実証研究【新規】

3.5 億円

○専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト

4.3 億円

○専修学校による地域産業中核的人材養成事業

9.6 億円

○専修学校グローバル化対応推進支援事業 2 億円

●質保証・向上

○職業実践専門課程等を通じた専修学校教育の質保証・向上の推進 1.6 億円

○専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業 0.5 億円

○専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業 0.3 億円

専修学校の教育体制及び施設整備等に関する取組 5.3 億円

○私立学校施設整備費補助金 3.0 億円

○私立大学等研究設備整備費等補助金 2.3 億円

専修学校への修学支援に資する取組 266 億円

○高等教育（私立専門学校分）の修学支援の着実な実施（内閣府計上）【新規】 264 億円

○高等教育負担軽減実施体制整備費補助金 2.8 億円

全専各連・全専協常任理事会開催

2月27日、東京都・アルカディア市ヶ谷において全専各連・全専協常任理事会が理事会に先立ち合同で開催された。出席者は23名。

福田益和会長が開会あいさつを行った後、会則により福田会長が議長に就任し議事に入った。

審議は、全専各連、全専協の順で進められ、理事会に提出する「第1号議案令和2年度事業計画原案」、「第2号議案令和2年度収支予算原案」、「第3号議案会則施行細則の一部改正」の各提案事項について審議を行い理事会に上程する

こととなった（※全専協第 3 号議案は常任理事会審議事項
であるため、同理事会では報告事項とする）。
続いて、報告事項では役員改選に係る手続き等について

説明が行われ、理事会の議事運営として議長の指名、議事
録署名人候補者の選出について審議が行われ、会議を終了
した。



TCE 財団だより

<http://www.sgec.or.jp>J 検 <http://jken.sgec.or.jp/>B 検 <http://bken.sgec.or.jp/>

情報検定 J 検 受験状況・結果

合格者数 731 名

合格率 55.0%

令和元年 12 月 15 日に文部科学省後援・情報検定（J 検）
情報活用試験（後期）が下記のとおり実施された。受験状
況・結果は次のとおり。

●ペーパー方式

出願団体数 25 団体

会場数 25 会場

3 級 出願者数 508 名

受験者数 459 名

合格者数 256 名

合格率 55.8%

2 級 出願者数 1,175 名

受験者数 961 名

合格者数 678 名

合格率 70.6%

1 級 出願者数 1,397 名

受験者数 1,162 名

合格者数 530 名

合格率 45.6%

令和 2 年 2 月 9 日に文部科学省後援・情報検定（J 検）
情報システム試験（後期）が下記のとおり実施された。受
験状況・結果は次のとおり。

●ペーパー方式

出願団体数 19 団体

会場数 19 会場

基本スキル

出願者数 1,726 名

受験者数 1,328 名

プログラミングスキル

出願者数 1,384 名

受験者数 1,109 名

合格者数 642 名

合格率 57.9%

プログラマ認定者数 558 名

プログラマ認定率 52.9%

システムデザインスキル

出願者数 979 名

受験者数 761 名

合格者数 179 名

合格率 23.5%

システムエンジニア認定者数 178 名

システムエンジニア認定率 23.4%

●C B T 方式（令和元年 4 月 1 日～2 年 1 月 31 日現在）

出願者数 10,314 名

情報活用試験

3 級 出願者数 3,642 名

2 級 出願者数 2,125 名

1 級 出願者数 762 名

情報システム試験

基本スキル

出願者数 1,473 名

プログラミングスキル

出願者数 980 名

システムデザインスキル

出願者数 938 名

情報デザイン試験

初級 出願者数	367名
上級 出願者数	27名

ビジネス能力検定(B検)ジョブパス 受験状況・結果

令和元年12月1日(日)に文部科学省後援ビジネス能力検定(B検)ジョブパス後期試験が実施された。

出願団体数	116団体
会場数	114会場
出願総数	9,869名

(通年実施のCBT方式は含みません)

■ 3級

出願者数	7,842 名	
受験者数	7,295 名	
合格者数	5,584 名	合格率 76.5%

■ 2級

出願者数	2,027 名	
受験者数	1,886 名	
合格者数	1,272 名	合格率 67.4%

■ 1級 (令和2年2月1日～9日実施)

出願者数	71 名	
受験者数	63 名	
合格者数	20 名	合格率 31.7%

内部質保証人材の 養成講習を開催

2月5・6日、東京都・アルカディア市ヶ谷において一般財団法人職業教育・キャリア教育財団(TCE財団)、全国専門学校協会共催で、「専門学校の教育訓練・運営に係る内部質保証人材の養成講習」が開催された。受講者は20名。

受講対象者は、専門学校の組織管理・運営、又は正規課程若しくは正規課程以外の教育指導や課程等の編成で、3年以上の実務経験を有し、当該知識を有している教職員。

はじめに、私立専門学校等評価研究機構真崎裕子事務局長が、「専修学校評価ガイドラインに沿った自己評価・学校関係者評価の進め方」「専修学校における第三者評価の

取組」と題して講義を、また、「自己評価報告書の作成演習(グループ演習・討議)」を実施した。休憩後、JAMOTE認証サービス株式会社代表八木信幸氏が、「専門学校の職業教育を取り巻く評価制度」「監査技法」についての説明を行い1日目を終了した。

翌日6日は、前日から続いてJAMOTE認証サービス株式会社代表八木信幸氏から「ISO29993:2017の要求事項①」

「ISO29993:2017の要求事項②」についての説明と小テストを実施し、また、「監査技法と内部監査事例演習ー内部監査の技術・知識の概要並びにISO29993:2017の要求事項に基づく模擬演習ー」を実施し、終了した。

専修学校グローバル化対応推進 支援事業 成果報告会

1月28日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として「2019年度専修学校グローバル化対応推進支援事業 成果報告会」がTCE財団の主催により開催された。受講者は81名。

本事業委員長の武田哲一先生の開会あいさつ後、財団事務局が成果報告書をもとに本年度事業を報告。続いて「『専門学校留学生の戦略的受け入れ推進事業』について」をテーマとして、留学生事業の取組について、府県協会による各事例紹介が行われた。

発表府県は、一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会、一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会、公益社団法人広島県専修学校各種学校連盟、一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会(以下県名で表記)の順。本財団のグローバル事業に参画した事業や、県独自に取り組んでいる留学生受け入れ支援策を参考として披露した。

発表の中で、宮城県は台湾を留学生受け入れ対象地域と想定した広報活動及び支援活動を行っている報告を行い、大阪府は、府の大局的な「大阪都市魅力創造戦略2020」に基づく継続的留学生受け入れ事業について事例を紹介した。続いて広島県は、県独自の取組として行っている「広島県へのベトナム人留学生倍増事業」について発表し、ベトナム及び県内で行っている留学フェア「プチ留学体験」を紹介。香川県の発表では、ベトナム・インドネシア・台湾を

ターゲット国地域とした関係構築や情報提供の手法に関する事例を紹介した。

最後に本事業総括として前述の武田委員長及び長谷川恵一本事業副委員長が登壇。まず長谷川副委員長が、大阪府の「出前授業」など日本語教育機関との連携のため行っている事業を紹介。東南アジア 8 か国連携事業に言及しながら、専門学校教育の価値が高まることに期待しつつ、ネットワークの全国への広がりのために、質の向上を今後の課題として挙げた。続いて武田委員長が、新宿区の就職支援プロジェクトの拡大を報告するとともに、成功事例として介護分野における留学生数の増加を引用。大学、専門学校、日本語学校においても留学生の在籍管理の徹底が求められつつある中で、留学生にきめ細かい教育を行い、社会に送り出す教育システムとして専門学校教育の優位性を主張し、今後の留学生政策においてますます重要性を増す「量から質への転換」の重要性を告げ、本事業の報告とした。

令和 2 年度予定日程

<役員会・総会等>

●全専各連第 69 回定例総会・第 131 回理事会

令和 2 年 6/17 (水)

東京都・アルカディア市ヶ谷

●全国専門学校協会定例総会・理事会

令和 2 年 6/18 (木)

東京都・アルカディア市ヶ谷

●都道府県協会等代表者会議

令和 2 年 11/27 (金)

東京都・アルカディア市ヶ谷

<課程別部会総会>

●全国専修学校一般課程各種学校協会定例総会

令和 2 年 6/9 (火)

東京都・アルカディア市ヶ谷

●全国高等専修学校協会定例総会

令和 2 年 6/11 (木)

東京都・アルカディア市ヶ谷

<その他会議>

●事務担当者会議

令和 2 年 4/17 (金)

東京都・アルカディア市ヶ谷

<令和 2 年度ブロック会議>

●中国ブロック会議

令和 2 年 7/9 (木)

岡山県・ANA クラウンプラザホテル岡山

●近畿ブロック会議

令和 2 年 7/10 (金)

奈良県・奈良春日野国際フォーラム 薨

●九州ブロック会議

令和 2 年 7/21 (火)・22 (水)

長崎県・ザ・ホテル長崎ベストウェスタン

プレミアムコレクション

●四国ブロック会議

令和 2 年 8/21 (金) (予定)

高知県・土佐御苑

●北関東信越ブロック会議

令和 2 年 8/25 (火)

栃木県・ホテル東日本宇都宮

●中部ブロック会議

令和 2 年 8/27 (木)・28 (金)

静岡県・ホテルクラウンパレス浜松

●北海道ブロック会議

令和 2 年 9/3 (木)・4 (金)

札幌市・ホテル札幌ガーデンパレス

●東北ブロック会議

令和 2 年 10/16 (金)

福島県・ホテル華の湯

●南関東ブロック会議

令和 2 年 10/23 (金)

神奈川県・崎陽軒

<TCE 財団役員会>

●第 135 回理事会

令和 2 年 6/5 (金)

東京都・アルカディア市ヶ谷

●第91回評議員会

令和2年6/22(月)

東京都・アルカディア市ヶ谷

<研修会>

●中堅教員研修会

◇令和2年8/24(月)～26(水)「教員のキャリアデザインワークショップ」

宮城県・TKPガーデンシティ仙台

◇令和2年9/7(月)「リスクマネジメント」

◇令和2年9/15(火)・16(水)「新任指導力」

◇令和2年9/24(木)・25(金)「体系的カリキュラム・シラバス作成」

東京都・主婦会館プラザエフ

<検定試験>

●文部科学省後援・情報検定(J検)

◇令和2年度前期試験

【情報活用試験】令和2年6/21(日)

【情報システム】令和2年9/13(日)

◇同 後期試験

【情報活用試験】令和2年12/20(日)

【情報システム】令和3年2/14(日)

◇C B T 試験

【情報活用・情報システム・情報デザイン】通年実施

※情報デザインは、C B T方式のみで実施。

●文部科学省後援・ビジネス能力検定(B検)ジョブパス

◇令和2年前期試験

【2級・3級】令和2年7/5(日)

◇同 後期試験

【2級・3級】令和2年12/6(日)

◇C B T 試験

【1級】令和2年9/12(土)～20(日)

令和3年2/6(土)～14(日)

【2級・3級】通年実施

<その他>

●第74回全国私立学校審議会連合会総会

令和2年10/29(木)・30(金)

東京都・ホテルグランドパレス

広報全専各連 プラスWEB掲載記事

詳細は全専各連ホームページ〔広報全専各連〕→プラスWEBよりご覧いただけます。

◆令和2年度専修学校関係予算案(詳細表)

■全国高等専修学校協会理事会・成果報告会

■全国専修学校一般課程各種学校協会理事会

<部会等主催> ○全国専門学校英語スピーチコンテスト

○全国専門学校ロボットコンテスト ○「服の日」記念

行事 ○観光英語検定

会員校の皆様へ

募集要項等に、3月31日までに入学辞退の意思表示をした者に授業料等を返還することを明記してあるか、不適切な記載がないかも併せ、改めてご確認ください。ご心配な点は都道府県所管課等とご相談ください。

本件に関わる通知等は全専各連ホームページにてご覧いただけます。

日本政策金融公庫(国の教育ローン)「災害特例措置」のご案内

平成30年北海道胆振東部地震、豪雨及び暴風雨による災害等、大阪府北部を震源とする地震、平成28年熊本地震、東日本大震災などにより被害を受けた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

日本政策金融公庫(国民生活事業)では、「国の教育ローン」につきまして、震災により被害を受けた皆さまに対して、貸付利率の引下げなどの「災害特例措置」を実施しています。

お問い合わせは、**教育ローンコールセンター 0570-008656 (又は03-5321-8656)**



■情報検定(J検)は情報教育の柱となる「創る・使う・伝える」の三要素を網羅し、これからも学校教育を支援していきます。

<http://jken.sgec.or.jp/>

情報活用試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

2020年度前期

試験日 2020年6月21日(日)

出願期間 手書願書——4月1日～5月18日(願書必着日)
電子願書——4月1日～5月25日(//)

実施級/受験料 1級——4,500円
2級——4,000円
3級——3,000円

情報デザイン試験

CBT方式のみ

詳細はJ検HPを参照下さい。

実施級/受験料 初級——4,000円
上級——4,500円

情報システム試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

2020年度前期

システムエンジニア認定
プログラマ認定

試験日 2020年9月13日(日)

出願期間 手書願書——6月1日～7月17日(願書必着日)
電子願書——6月1日～7月21日(//)

実施級/受験料 基本スキル——3,500円
システムデザインスキル——3,000円
プログラミングスキル——3,000円

情報検定全科目でCBT方式がご利用いただけます!

*パソコン画面で受験できる試験方式です。

従来のペーパー方式に加え、CBT(Computer Based Testing)方式でも実施いたします。

*個人受験をご希望の方はCBT方式をご利用ください。

◇各試験で随時受付中です。

◇受験料はペーパー方式と同一料金です。

◇自由に試験日が設定でき、合格結果もその場で分かります。

J検CBT無料体験版でお試しいただけます。(ホームページよりご利用ください。)

◇「併願受験」をサポートするプランも実施中です。

不合格、または欠席となった科目は1年間合格するまで何度でも受験できます。
(団体のみ対象。登録資格はwebにてご確認ください。)



文部科学省後援

ビジネス能力検定ジョブパス

(<http://bken.sgec.or.jp/>)

従来のペーパー方式(全国一斉)に加えて新たに2級、3級にも
C B T方式を導入しています。(1級はC B T方式のみ)

(検定試験の最新情報は、B検ホームページにてご確認ください)

2級・3級(2020年度前期)[ペーパー方式]

■前期試験/2020年7月5日(日)

■出願期間/4月1日(水)～5月22日(金)

■実施級・受験料/2級(4,200円)

3級(3,000円)

【想定受験者と評価内容】

2級●就職活動のスタートを間近に捉えた大学生、専門学校生等から社会人1、2年目程度。●3級の知識を前提とし、企業の役割や責任と権限などを理解するとともに、効率的な業務の進め方、問題解決のための基本的なコミュニケーション、情報活用の技法を評価する。

3級●就職活動を視野に捉えた、高校3年生、大学生・専門学校生等●入学者自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提にビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識を評価する。

1級(2020年度前期)

■前期試験/2020年9月12日(土)～

9月20日(日)

(上記期間内から選択可。ただし会場設営状況による。詳細はホームページをご覧ください)

■出願期間/団体受験:7月6日(月)～

試験日の2週間前まで

/個人受験:7月6日(月)～

試験日の3週間前まで

■実施級・受験料/1級(8,500円)

(2級合格者が所定の期間に受験する場合5,500円※但し、1回のみ)

【想定受験者と評価内容】

●就職活動を展開中の大学生・専門学校生等から入社1年目から3年目程度の社会人。●2級の知識、技法を前提とし、問題解決を円滑に推進するために必要となる論理的な思考、情報発信と表現技法、および基礎的なマネジメント技法を実践的に評価する。

文部科学省認可 学生・生徒24時間共済

組合認可番号：27 受文科総第1713号
共済認可番号：27 受文科総第1714号
共済認可番号：28 受文科総第1718号

～卒業までの安心を全ての学生・生徒に提供したい～

学生・生徒24時間共済の特長

- ◇補償は毎年4月1日開始！
掛け金の振込は4月15日まで！
- ◇暫定人数での契約が可能！
概算契約・確定精算方式を採用！
- ◇名簿の提出不要！
契約時の手続きを大幅に簡略化！
- ◇低いコストで手厚い補償を提供！
共済制度は低コストでの運営が可能である為
民間の保険会社より安い掛金で 手厚い補償を提供
1名あたり年間平均共済掛金：6,500円（100—499名）
- ◇剰余金の割戻
共済事業から発生する剰余金がある場合
組合員である学校に「剰余金の一部」を還元
することが可能
2018年度 剰余金割戻金率：8.0%

右記の基本プランの他、医療福祉分野プラン
など複数プランがございます。

学生・生徒が病院等の臨床実習先で感染症に
罹災したことによる治療費、検査/予防費を
補償します。

学生・生徒24時間共済補償【基本】



キャリア教育共済協同組合
Mutual Aid Cooperatives Career Education

お問い合わせ先
フリーダイヤル 0120-014-888

本部事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2-25 （全国専修学校各種学校総連合会/一般財団法人職業教育・キャリア教育財団事務所内）
大阪事務局 〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町9丁目1-22

専修学校・各種学校の保険ご担当者さま

学生・生徒・学校のリスクをカバーします!!

こんな事で
お悩みではありませんか？



- ☑ 学校で生徒が事故にあったら大変..
- ☑ 学生がインターンシップ先でトラブルを起したら...。
- ☑ 自転車通学中の事故が多いと聞くけど..

もしものときに手厚く補償。
安価な保険料で、安心の学校生活・学校運営を!

Point
1

「専修学校・各種学校の実情を熟知した財団が監修」

安い保険料で、広く大勢の学生のリスクをカバーしています。

Point
2

「学生・生徒のために」

企業での就業体験としてのインターンシップが増え、それに伴い機械の誤作動によるケガや、機材の破損などに対する賠償責任事例も増加しています。本保険はインターンシップ中のトラブルにも対応しています。また、医療現場でのケガやトラブルにも対応しています。

Point
3

「学校のために」

学校教育活動全般を補償するのはもちろん、個人情報の漏れへの流出など、社会的な打撃が大きい情報リスクにも対応しています。（マイナンバー対応可）

NEW!

2019年度より臨床実習を実施する医療関連学科の学生・生徒を対象とする「感染予防費用補償特約」が追加となりました！

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団がつくった。専修学校・各種学校のための保険です。そのため、キメの細かさにも自信があります。

加入校は約1,680校

加入者は約21万人（2018年度）

さらに
学校単位の加入で、
申し込みも簡単！

層希望の多い保険の組合せ例

学生・生徒
災害傷害保険 + インターンシップ
活動賠償責任保険

<取扱代理店> 株式会社 第一成和事務所

東京都中央区日本橋久松町11番6号 日本橋TSSビル8階

お問合せ先 TEL.03-3669-2831

引受保険会社（幹事）



東京海上日動火災保険株式会社

MS&AD

三井住友海上



損保ジャパン日本興亜

インターンシップ活動賠償責任保険、個人情報漏えい保険、サイバーリスク保険につきましては、東京海上日動火災保険（株）の単独引受となります。

学生・生徒災害傷害保険、留学生補償保険（総合生活保険（こども総合補償））、医療分野学生生徒賠償責任保険、学校賠償責任保険につきましては、上記保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険（株）が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては団体窓口にご確認ください。このご案内は、各保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず各保険のパンフレットや重要事項説明書をよくお読みください。ご不明な点がある場合は代理店までお問い合わせください。